



琵琶湖河川事務所は、平成18年度より京都府立洛北高等学校附属中学校（以下、「附属中学校」）の生徒に出前講座を行っており、今年度で連続13回目です。

附属中学校は、中高一貫教育の基本コンセプトを「SCIENCE」とし、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、数学・理科分野において特色ある教育活動を展開しています。前身の旧制中学校の卒業生には湯川秀樹、朝永振一郎というノーベル物理学賞受賞者がおられます。

平成30年度も学校からのご依頼を受け、「琵琶湖・淀川水系の治水・利水・環境・水防災の概要」として琵琶湖河川事務所の事業概要に加えて、これからの水防災に関する講義を実施しました。

【概要】

- 日 時：平成31年2月13日（水）13：25～15：15
- 場 所：京都府立洛北高等学校附属中学校（京都市左京区下鴨梅ノ木町59番地）
- 対 象：2年生 約80名
- テーマ：「琵琶湖・淀川水系の治水・利水・環境・水防災の概要 ～これまでとこれから～」



浸水想定区域図や避難の説明



琵琶湖・淀川水系の概要講座



琵琶湖の環境の講座

【生徒からの質問・感想】

- ・大雨の時、琵琶湖の水位は1日に何センチくらい上昇するのか。
- ・現在、琵琶湖は滋賀県にあるが、始まりは違う位置で徐々に移動してきたのだと聞いた。元は川だったのか。なりたちがもっと知りたい。
- ・琵琶湖では外来魚増加の対策として回収ボックスが置いてあると聞いたが、回収された外来魚はどのように処理をされているのか。